

# 彩の国ロードサポート NEWS



彩の国ロードサポートについての情報は、県道路環境課ホームページをご覧ください。

**道路環境課ホームページ** <http://www.pref.saitama.jp/A08/BF00/index.htm>

編集・発行：埼玉県県土整備部道路環境課 〒330-9301 さいたま市浦和区高砂3丁目15番1号

TEL 048-830-5103(直通) FAX 048-830-1942

## ロードサポートの認定状況

平成16年4月1日現在で

**130団体**

**約6,200人**

## ～ 目次 ～

- 1. 「道路愛護の集い」を開催しました・・・P 1
- 2. 彩の国ロードサポート団体の活動報告・・・P 1
- 3. 県からのお知らせ・・・P 4

## 1. 「道路愛護の集い」を開催しました

2月15日(日)に、埼玉会館で埼玉県・埼玉県道路協会主催の「道路愛護の集い」が開催されました。

当日は約380名の方に参加いただき、彩の国ロードサポート団体の活動報告、道路愛護ポスターコンクールの表彰式やまちづくりについての講演が行われました。

そこで、この彩の国ロードサポートNEWSでは、当日、発表いただいた各団体の活動内容をご紹介します。それぞれが貴重なお話ですので、きっと、皆様の今後の活動の参考になると思います。

なお、来年も同様の催しを行いたいと考えております。詳細が決まりましたら、ご案内いたしますので奮ってご参加ください。

## 2. 彩の国ロードサポート団体の活動報告

### ヒマラヤ桜を守る会(蓮田市)

活動人数：14名  
 活動路線：県道蓮田鴻巣線  
 発表者：篠原 寿一さん

「ヒマラヤ桜を守る会」代表の篠原でございます。

当会は、蓮田鴻巣線の蓮田駅周辺の約400mの拡幅工事が昨年3月に完成したのを機にスタートしました。両側に歩道が3.5m付き、車道9m、全幅16mの大変立派な通りになりました。街路樹にはヒマラヤ桜が植えられましたが、何せ幼木で頼りないものですので、何とか我々でしっかり



と根付けようという願いを込めて「守る会」としました。

通りは立派になりましたが、夏になるとともに街路樹の根本に雑草が生えてみにくくなり、またタバコのポイ捨てやガム、紙くずなどを平気で捨てる通行人が後を絶たず汚れが目に見えるようになり、環境が悪くなりました。そこで、町内会の人たちに声を掛け、また県土整備事務所よりこのような県のサポートがあるということをお聞きして、昨年9月に団体を立ち上げました。

当初は通りに面する商店主に、なんとかきれいにしたいと声を掛けたのですが、皆さん仕事が忙しくて通りの清掃までは手が回らないと断られ、メンバー集めには苦労しました。その後、町内会長に相談して町内の住民の皆さんに声を掛け、ようやく10名を超える人たちが集まりました。

通りには大手の都市銀行もあり、協力してもらおうと話を持っていきましたが、冷たくあしらわれました。銀行は変わったといいながら、実はなにも変わってはいませんでした。今後話を、ぜひ、地域社会へ貢献するように変わっていただきたいと思えます。

活動は、全員一緒に清掃するのが月1回の日曜日、その他にメンバーを3つのグループに分け、それぞれのグループがそのメンバーの都合の良い日に合わせて毎週日曜日、木曜日、月曜日に清掃をしています。

最初は非常に汚れていて、清掃に2時間近くかかりましたが、雑草が生い茂り、空き缶や犬の糞があって汚く、臭く、不衛生だった空き地を、土地所有者に県土整備事務所より指導して頂き、今では大変きれいになったのも清掃活動の一環なのではないかと思っています。清掃活動も、最近は30分程度で終わるほどにゴミも少なくなりました。

この活動を通じて、近くに住んでいてもお互いに知らなかった人たちと知り合いになり、挨拶を交わすなどコミュニケーションの機会が増えたように思います。また、当初無関心だった商店主達も、自分達の店の前くらいは多少ですが気に掛けるようになり、道路清掃に気を付けるようになったかなと感じております。また、市の広報誌にも取り上げてもらい、市民達にも、多少気にする人が出てきたように思います。

しかし、相変わらずタバコをとこ構わずポイ捨てしたりガムをはき捨てたりするものはありまして、一週間経つと結構汚れるのは相変わらずの状態です。このような人々を減らしたいというのも、一つの目標でございます。

この通りには、もっと沢山の街路樹が植えられると思っていたのですが、当初は、街路樹は幼木が7本しか植えられていません、まばらな状態でした。

街づくりには、計画の段階から地域住民を巻き込んで、設計も一緒に考えていくことが必要かと思えます。行政には、ぜひ設計段階から情報を開示して、地域の人たちと一緒に計画していくことが大事なのではないかと思っております。

このように、通りはきれいになりましたが、街路樹が少ないためにむしろ殺風景になる恐れが出てきましたので、今年からは、花をいっぱい植えて、ヒマがあると「あの通りを歩いてみようかな」という気持ちになるような通りにしたいと思っております。

また、最近では中心市街地が空洞化していますので、なんとか活性化をしたいと考えていますが、こうした通りを中心として、活性化の起爆剤にしたいという意味でも、会員を増やして、通りをきれいにし、華やかな通りにしたいということで、今後がんばっていきたいと考えています。

## 熊谷市立三尻中学校(熊谷市)

活動人数：199名(2年生)

活動路線：県道深谷東松山線

発表者：石塚 瑞希さん 平田 安里紗さん 間瀬 裕香子さん

熊谷市立三尻中学校の位置は、熊谷市の西部、最寄りの駅は筆原駅です。

三尻中学校が道路里親制度で担当しているのは、県道深谷東松山線、航空自衛隊熊谷基地の入口から三尻中学校の前を通る1.6kmの区間です。

道路里親ボランティア活動のきっかけは、中学生として

なにか社会に役立ちたいという気持ちから学年全体で取り組むことにしました。

また、三尻中学生徒として、誇りに思えることを作りたいと思い、三尻中学校に私たちが3年間活動したことで伝統を残したいと思ったからです。

活動内容は、

三尻中学校前の県道深谷東松山線の1600mの範囲をゴミ拾いと除草。

埼玉県道路里親制度に2002年から登録。

プランター72個の維持と管理。これは毎日の水やり、施肥、植え替えなどです。

活動は1年を通して行います。1600mと一口に言っても大変長いです。ゴミを拾ってあるくと草を取れないので、次の5つの仕事に分担しました。

除草をする人 燃えるゴミを拾う人 缶やびんを拾う人

プランターの手入れをする人 土砂を取り除く人

プランターの花の維持管理は、プランター担当の仕事です。手入れがいいと、7月になってもパンジーは元気に咲いています。

プランターの水やりは、班活動で実施します。プランターの花も生きています。雨天以外は、ほぼ毎日水をあげなくてははいけません。授業がある日は、放課後に各クラス順番に班活動として水やりに行きました。夏休みの水まきは日替わり交代で行いました。

8月21日に県土整備部長さんと熊谷県土整備事務所の皆さんが来校され、一緒に県道の美化活動を行いました。昨年から続けている私たちの活動を、熊谷県土整備事務所長さんからほめていただき大変うれしかったです。

道路の歩道にふきだまって積もった土は、一輪車に乗せて、学校に持ち帰り、一時保管します。その後、熊谷市の維持課の方に取りに来てもらっています。

地域の方々にお尋ねしました。

三尻中部自治会長、富田辰之助さんのご意見、

「県道深谷東松山線の清掃、花いっぱい運動に協力していただき、熊谷市の環境美化推進委員としてありがたく、感心しています。来年は国体も開かれ、三尻中の皆さんがボランティアとしてゴミゼロ運動、花いっぱい運動で協力して頂けることを期待しています。」

三尻公民館長、野口次男さんのご意見、

「目的に向かって皆で工夫し、体を使い、汗を流し達成したときの気分爽快、満足感。禅宗では体を使うことを作務といい、一番大切なこととされていますが、皆さんは県道の長い範囲の清掃・美化活動というすばらしい作務を行いました。通る人やドライバーがきっと気分よく明るい気持ちになったと思います。三尻中の皆さんに拍手を送ります。」

拾六間第一自治会長、篠田薫さんのご意見、

「生徒の皆さんのボランティアに対する意欲を高く評価致します。地域の環境美化に大いに貢献できました。そして、前向きに取り組む態度が、きっと将来にも良い結果を生むことでしょう。県道が明るくなり地元の評判も上々です。」

活動して判ったことは、中学生でもやればできることがわかりました。自分のためにするのではなく、人のため、地域のためにすることは、大変だったけど気持ちよかったです。人から喜ばれるのは、うれしく感じて、自分の喜びになることがわかりました。

私たちの決意

今は2年生ですが、私たちが3年生になっても続けます。そして、この活動が三尻中学校の伝統になるように努力したいです。「県道深谷東松山線の美化活動」を後輩たちが胸を張って、三尻中学校の生徒のボランティア活動であるといえるように、しっかりとした活動基盤を作って置きたいと考えています。もちろん先生方と協力しあって地域に貢献していきたいです。



## めいろう会 (熊谷市)

活動人数：30名

活動路線：一般国道407号

発表者：内田 富美子さん

私達のグループは、社団法人倫理研究所の活動団体でめいろう会と申します。

活動のきっかけは、倫理研究所が地域密着型倫理活動を推進する中で、その活動内容はそれぞれの地域組織に委ねられております。

道路愛護で清掃活動をし地域貢献している情報は以前から倫理研究所の新報等で得ておりましたが、なにか地域貢献できるものはないか役員会議で話し合っておりました。会員の中から国体開催を控え、道路が綺麗になっていると気持ちがいいね。という意見がありました。

埼玉県活動団体の募集を知り、我らがチーフ須藤芳彦支部長は、上部組織に掛け合い了解を取り付け、申請書を提出、昨年11月14日付け認定書を受理いたしました。

申請の段階で、現在実施している八木橋から南へ、陸橋をはさんで400mしか清掃するところがないとのことでした。運が良いと  
いうか、その場所は、私達の活動拠点の至近距離に位置しておりました。現在三回実施したところですが、次の清掃の日が待ち遠し  
くなりました。

活動してよかったことは、

- 一、まず道路が綺麗になったこと。
- 二、なにげなく通っている道路が愛しく思えたこと。
- 三、私達が清掃している道路という意識の芽生え、ゴミが気になるようになりました。
- 四、行政建造物は、行政がやるんじゃないかと思っていたが、私達市民の手で出来ること  
があると強く認識し、こんな活動が広範囲に波及していけば良いと思いました。
- 五、タバコの吸い殻、空き缶、弁当のトレーが沢山落ちており、車上からまた、歩きなが  
らタバコを吸って捨てて行くことが判り、火事などの原因に思いが馳せ心を痛めました。
- 六、モラルハザードははっきりとして存在していることが判りました。
- 七、組織の堅い絆が出来つつあるように思えることです。

活動の苦労ですが、

- 一、道具置き場の確保でした。清掃活動の地点より少し距離を置いた地点の市議会議員を頼りました、快く引き受けてくださ  
いました。しかし早朝の活動で一、二回なら良いが長期に亘った場合ご迷惑となろうとのことから、付近のスペースのありそ  
うなお宅を尋ねてあるきました。……が市街地では見つかりませんでした。たまたま清掃範囲道路に面している文化財「星  
溪園」があり、清掃していた人が見えた。咄嗟にここが良いと決めて自転車をおり依頼しました。快く受けてくれたその人は、  
以前私が勤務していた職場の上司で、私を見るなり「あー、そんなことならいいよ。」言ってくれました。「フムフム……  
よく働いておけばこんな良いこともあるんだ。」とほくそ笑みました。

しかしそこでその人は、「市役所の社会教育課の所管だからよく連絡を取って置いてね」とも言われました。すぐその足で  
社会教育課へ行き依頼しましたが、「課長がいなくて返事は出来ない。お昼に帰るからそれまで待っていてください。」  
とのこと。自宅で待ったがお目当ての電話はなかなか来ない、電話が鳴るたびに飛んで行きました。とうとう三時頃になっ  
てしまいました。文化財だけにこれは「まずいな。」と自分自身が気がつきました。さのこと、社会教育課の返事は不許可  
でした。でもすぐ納得できました。そうこうしているうちに、県土整備事務所の方が市議のお宅へ道具を下ろしていったと  
いう。清掃日は明日という日で、私は車を運転して行き道具を乗用車に積んで朝を迎えました。道具を下ろした乗用車の白  
いカバーは、竹藪の穂先のかげらでめっちゃ汚れました。後でガソリンスタンドに持っていき綺麗にしてもらいました。

結局置き場の定着位置は、倫理の学びの基本である「朝の集い」の会場に自然と落ち着いていきました。

- 二、清掃活動の人数の確保です。計画通りに人は集まらない。ましてや、まだ辺りは暗い。「事故等考えると無理は出来ない。  
出来る人がやっていくより仕方がない。」と須藤支部長は言う。「払暁(夜明け)が早くなれば人は自然と出て来る。」と他の  
会員も言ってくれました。

- 三、日曜日は皆が家族サービスの日で、日中が使えないことから、活動が早朝となり、季節によっては暗い内にやらなければなら  
ないということ。以上三点です。

周囲の反響ですが、「こんなに朝早く箒を持って清掃している人がいる。今度出来たら私も手伝うよ。」と言ってくれた人もある  
とのこと。広がりを見せるかも……と密かな期待を持ちました。心なしか最近捨てるゴミが少ないように思えました。

最後に、今後の目標は、継続は力なりで清掃活動実践をひたすら続けることです。



## すきっぷたうん商店会(新座市)

活動人数：65名

活動路線：県道さいたま東松山線

発表者：矢口 實さん

東武東上線の志木駅南口すきっぷたうん商店会の矢口と申  
します。

1000mの歩道の花壇に年2回、4000個の花の植え替えと、  
日ごろの管理を65名のボランティアでやっております。

はじめに、朝霞県土整備事務所からロードサポートのお話  
しがあり、私も常々、官民が協力しての道路環境の整備・維

持管理は大変いいことだと思っておりましたので、こちらにしても願ってもないこととお受けした次第です。今まで、道路の管理は  
行政が勝手にやるものという意識がありました。

しかし、自分の家の前の道路を掃いたり、水を打ったり、きれいにするのは当たり前で、ましてや自分の店の前に花壇を作っ  
てもらい、花まで植えてくれるなら、こんな結構な話はないと思います。

しかし、声をかけてみますと、一人、二人でやっている小さな路面店は協力的でしたが、  
意外と30名も居る一部の銀行や全国展開のファーストフード店などは「うちでは手が無  
いから」と断られました。

草を抜いたり、ゴミや缶を拾うだけならビニール袋一つ有れば出来ますが、水やりは遠  
くからでは出来ないの、協力を求めているのですが、これらの企業は共存、共栄は考え  
て居ないようです。

ボランティアの中にはペットボトルで水を運んでいる人も居るようです。

それでもどうにか花壇が綺麗に整備されると、今度はそれを阻むテロが現れました。

綺麗な花を見れば抜いて捨てる、踏みにじる、ひどいのは驚掴みで抜いた泥だらけの株  
を自動販売機の取り出し口にねじり込む、このような人間と同時代を過ごさなければなら  
ない空しさを味わっています。

「矢口さん見てよ、ただよ、俺は毎日、花がらを詰み、水やりをやっていて、ほかよりも大きく綺麗な株になったのに、どうして  
こういう事をするのだろう」と言いながら、3分の1になった、しおれた株を植え直す姿を見て、私は辛く情けない思いで一杯です。  
「私達は官民が一体となって快適で綺麗な環境を作るといふ崇高な理念の基に始めた事で、これが崇高では無く、当たり前の事とな  
るまでは続けなければならないし、それにはひたすら不変の根気が必要です」と話をした次第です。

人間は何万年経てば倫理や道徳が身に付くのだろうか。

人々の意識改革や快適で綺麗な町作りの啓蒙は子供の時からと思い、花壇の苗植えを地元の小学校の校長先生に相談致しますと、  
大変協力的で「早速職員会議にかけてご返事します」と快く請け負って頂けました。



しかし職員会議では「どうしてうちの生徒が駅前商店会の手伝いをしなければならないのか」「事故でもあったらどうするのだ」等と色々な意見があったようですが、結果は課外授業という事で協力が頂けました。

植え替えの当日、134名の小学3年生と校長、教頭、引率の先生等大勢で来て頂きました。

車道に出ないように、歩道の自転車に気を付けること等を注意しました。

本当に楽しそうに生き生きと苗を植える小学生を見、この子たちの充実した帰り姿を見ると、よしこれからだと手応えを感じました。

その後、学校で「すきっぱたうんで花植したよ」という題で作文を書いたそうです。

その中に花や土に対するこまやかな愛情が書かれ、「花を植えるのは難しいけど、皆で力を合わせて上手に出来た」、「今日は今までで一番楽しい1日でした」と書いてありました。

このごろでは花の植え替えも6月と11月の学校行事に組み込んで頂いて居るようです。

子供たちが10年経って、その時も花壇が綺麗だったら「今でも小学生が植えているのかな」と思い、その花を踏みにじる子はいないでしょう。

花のテロもこの頃は飽きたのか、少なくなったみたいです。

花達は寒さの中、健気にも咲き誇り、町はいま、まさにスキップタウンです。

## 八潮市建設業協会(八潮市)

活動人数：24名

活動路線：県道八潮三郷線

発表者：関口 光夫さん

私共、八潮市建設業協会23社は、昨年の5月から八潮市商工会主催のクリーン作戦に、協力27団体の1団体として参加し、埼玉県道里親制度の認定を受け、活動しています。各参加者は活動することに充実感が得られ、積極的に参加して、毎月の清掃日には予定人数を超える参加者により活動を行っています。

そして、美化運動方針として、「住民の住みよい環境づくりとゴミのない街づくり」を目指して清掃を行っています。

日ごろの活動拠点は、八潮市の県道116号歩道で、毎月1回の全体清掃と毎週1回の週間清掃を行っています。

全体清掃では13工区(約1.3km)を工区分けして各企業が担当工区を受け持ち、また週間清掃では23社を5班に分け、毎週交代で清掃を行っています。

ミーティングは参加者を集めて行っており、その日の活動内容は商工会に報告しています。

特に目立つゴミは、コンビニ袋いっぱい詰めたゴミや空き缶で、駐車車両のドライバーに、ゴミのポイ捨てをしないようお願いもしています。

その他家電製品や古タイヤなどの粗大ゴミも投棄され、おもに歩道の植え込み内に投棄されています。

作業で、植え込み内の清掃はとても困難ですが、取り忘れの無いようにまた納得いくまで限なく清掃を行い、集められたゴミは所定の集積所に運んでいます。

時には家庭ゴミを分別もせずに袋に詰めて植え込み内に捨ててある場合もあります。このようなゴミでもそのまま集積場に運ぶことなく分別を行い処分しています。

去年の活動報告で、ある一定の工区から毎回大量のゴミが発生したために、今年からゴミの多い工区での作業人数を増やし清掃に取り組んでいます。

そして作業終了後は、各参加者から報告を受け、集積量、集積場の状況、粗大ゴミの有無などの記録をとり分析して、今後の活動に役立てています。

このような美化活動は、私共のほかにも各団体、小学校、その他大勢の人たちにより日ごろから行われていて、美化活動の成果は顕著で、以前と比べるとかなりゴミの量が減りつつあります。

しかしながら、まだまだ心無い人たちにより捨てられたゴミが、毎週清掃を行っていてもゴミ袋で10袋ちかく集められます。

私共、八潮市建設業協会では日頃の清掃活動を通じ、皆様にマナーをもう少し持っていただき、いずれはこのような作業をしなくてもゴミのない美しい通りになることを祈って活動しています。

今後の活動として、ゴミの多い工区に看板の設置をしたりスタッフジャンパーを着用しながら作業を行い、私共の美化活動により、少しでも多くの方が路上にゴミを捨ててはいけないということを認識していただければと思っています。

八潮市建設業協会は、良き企業市民として、地域社会から親しみ信頼される企業を目指し、日ごろから公共事業にご協力下さる住民に恩返しと、ゴミのない街づくりを目標としてこれからも美化運動に積極的に参加していきたいと思っております。

また、本日会場におみえの方の中には、ゴミの減量化やリサイクル活動に大変熱心に取り組んでいる方が多いと思っておりますが、今回の私の話が少しでもお役に立てれば、うれしく思っております。



### 3. 県からのお知らせ

構成員名簿 (申請書様式1-2)について	これまで、申請書に添付していただく構成員名簿(様式1-2)には、住所と年齢をご記入いただいていたのですが、個人情報保護の考えから、今後は、住所と年齢を記入いただかないことといたしました。これにより、申請書の様式を名前だけを記入する形に修正いたしますので、ご了承ください。なお、これまでいただいた名簿については、各県土整備事務所、住所と年齢を削除して責任をもって保管しています。
ボランティア保険の適用期間について	彩の国ロードサポートのスタート時には、ボランティア保険の適用ができない期間(3月下旬から4月上旬)が生じていましたが、現在は、1年を通じてボランティア保険が適用されています。
車道での活動や機械を使った作業はご遠慮ください	これまでに、自動車にあおられて足をくじいたり、草刈り機のはねた小石が走行中の乗用車のガラスを割るなど、活動中の事故についての報告が寄せられました。そこで、サポート団体の皆様には、エンジンやモーターを用いた機械の使用や高所での作業、歩道以外での作業など、危険を伴うと思われる作業は控えていただくようお願いいたします。もし、これらの作業が必要と考えられる場合には、県土整備事務所へご相談ください。また、安全な場所でも車両通行の監視役の人を置くなど、活動中の安全確保に十分な配慮をお願いします。